

レジメン登録申請書

診療科	血液内科	申請医師		提出日	年 月 日
レジメン名称	FLT3-ITD変異陽性AML 地固め				
対象疾患・ステージ等	未治療FLT3-ITD変異陽性AML 地固め				
適応の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 保険適応あり <input type="checkbox"/> 保険適応なし				
入院実施による算定方法	<input checked="" type="checkbox"/> DPC包括対象 <input type="checkbox"/> DPC包括対象外（出来高算定） （薬剤師が診療情報士に確認する）				
本治療の位置づけ	未治療FLT3-ITD変異陽性急性骨髄性白血病に対して従来の寛解導入療法および地固め療法にFLT3阻害薬キザルチニブを併用することで全生存期間の有意な延長が示されており、75歳までの強力化学療法が可能な症例が対象と考えられる。				
使用予定日	年 月 日				

治療内容	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール													
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	...	19日目	日目	日目	日目	28日目		
治療内容	Rp1	ソルコーテフ	100mg	30分	div	●		●		●									
		グラニセトロン	3mg																
	Rp2	シタラビン	3.0g/m ²	3時間	div	●		●		●									
		生理食塩液	500mL																
	Rp3	ソルコーテフ	100mg	15分	div	●		●		●									
		生理食塩液	50mL																
	Rp4	シタラビン	3.0g/m ²	3時間	div	●		●		●									
		生理食塩液	500mL																
	Rp5	生理食塩液	50mL	全開	div	●		●		●									
			キザルチニブ	35.4mg/日	1日1回	14日間							●	...	●				
			人工涙液マイティア点眼		1日6回	両目	●	●	●	●	●	●							
			リンデロン点眼																
			シタラビン	12時間ごとに投与	60歳以上は1.5g/m ²														
			キザルチニブ	強いCYP3A4阻害剤を併用する場合は17.7mg/日へ減量する															
			人工涙液マイティア点眼	・シタラビン投与開始日朝から投与終了の翌日まで															
		リンデロン点眼	・人工涙液マイティア使用の5分後にリンデロン点眼を使用する																
総投与時間	6時間30分																		
血管外漏出時のリスク	非壊死性																		
(備考)調製時・投与時の注意点など	<ul style="list-style-type: none"> ・生理食塩液 or 5%ブドウ糖液 250-500mLで希釈(200mLまで混注可。混注量が200mLを超える場合はセーフミックバッグを使用) ・中枢神経系障害や遷延性の骨髄抑制を防ぐために投与時間3時間を厳守する 																		
1サイクル期間	28日																		
総コース数	1コース 最大4コース																		

化学療法委員会は 奇数月の第1火曜日です。レジメン申請書の提出は化学療法委員会2週間前までにお願いします。